

加古川市議会報告

2021年 春季号

発行●市議会議員 岸本たてき・市議会議員 立花しゅんじ 加古川市加古川町北在家2000 TEL 079-427-9030

市議会議員

岸本たてき

●総務教育常任委員
●加古川市
都市計画審議会委員



市議会議員

立花しゅんじ

●建設経済常任委員
●加古川市
青少年問題協議会委員



市民の財産が なくなってもいいの？

勤労会館→カピル5Fへ

加古川図書館→カピル6Fへ

アクア交流館→駐車場等に

播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに基づき、公共施設を姫路市を中心に集める8市8町による連携中枢都市構想で、加古川市も各種公共施設を壊す施策が進められています。小さな政府・コンパクトシティ構想は職員を減らし、外部委託に頼り、市民サービスを後退させます。



加古川図書館の移転に 問題

加古川図書館がヤマトヤシキ(カピルビル)6階に移転し、民間委託になります。無料駐車場が無くなります。移設費4億3.9百万円を大手ゼネコンに随意契約です。

「安心して楽しめる図書館でなくなる」との声や、多額の随意契約に対する声があります。残された図書館建物(旧加古川町公民館)の存続も財政上不明です。

莫大な費用をかけての移転より、レトロで歴史的意義のある建物での読書が贅沢ではないでしょうか。議案に反対しました。



平荘湖アクア交流館の 跡地が駐車場などへ

多くの利用者があり、惜しまれながら温水プールは2年前に閉鎖されました。この建物の撤去事業に今年と来年の2年間で総額4億45百万円が使われる予定です。跡地は駐車場程度の利用しかありません。市民の財産を壊す計画に「もったいない」の声が上がっています。有効利用を求め、取り壊しに反対しました。



デマンドタクシーの 拡充を

加古川市は、令和3年1月13日より、公共交通空白地域対策として乗り合いデマンドタクシー「チョイソコかがわ」の実証実験を八幡町及び上荘町国包にお住まいの方を対象にして開始しています。登録が必要です。現在約450人、利用者は1日あたり約9人が利用しています。一日も早く全市的に運行してほしいものです。

乗り合いデマンドタクシー「チョイソコかがわ」→



新年度予算に対する態度

新年度予算に反対

新年度一般会計予算923億93百万円、特別会計・企業会計807億54百万円合わせて1,731億47百万円ですが、各種事業で、大企業に有利になる委託業務は、地元への経済効果が期待できません。

コロナ対策の予算、子どもたちへパソコンによる学習が入りました。地球温暖化対策のSDGsの言葉が並びましたがその具体性は見えません。子どもたちから高齢者まで市民が安心して暮らせる市政を求め新年度予算に反対しました。



新型コロナワクチン接種情報

高齢者への優先接種に向け、接種券が4月から段階的に送付されます。第1段階は、今年度80才以上の方からです。

接種クーポン券の発送は4月9日(金)、予約開始は4月17日(土)、接種の開始は5月8日(土)からです。

また、市内5か所の会場へのタクシー料金の助成券(500円)4枚が配布されます。「広報かがわ4月号の案内」に一部変更があります。

詳しくは、下記コールセンターにお問い合わせください。

コールセンター

☎079-451-5455 ※午前9時から午後5時(土日祝を除く)

新型コロナ感染症の 収束と生活支援を

3月18日市長に申し入れ



変異株が注視され、リバウンドの可能性が示唆されるなか大規模PCR検査やオリンピック中止など5項目の申し入れを実施。